

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『睡眠障害外来における RBDSQ の臨床的有用性と偽陽性に関する検討』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2021年4月1日より2023年12月31日までの間に国立精神・神経医療研究センター病院にて終夜睡眠ポリグラフ検査を実施された方

【研究期間】

研究実施許可受領後より2026年3月31日まで

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 松井 健太郎

【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

研究名称：睡眠障害外来における RBDSQ の臨床的有用性と偽陽性に関する検討

利用目的：RBD スクリーニング問診票(RBDSQ)はレム睡眠行動障害(RBD)の診断において一般的に用いられる質問紙ですが、RBDではない方でも陽性の判定が出てしまう、いわゆる偽陽性となる可能性があるとしてされています。本研究では、過去に上記研究において記録させていただいたデータを利用して、この説が本当であれば年齢や性別、睡眠時無呼吸症候群(OSA)の合併等、何が偽陽性の要因となっているのか、また、どうすれば偽陽性となる可能性を適切に低下させることができるのかを調べることを目的としています。

利用方法：PSG データと基本情報(年齢・性別など)、アンケートの回答を用いて、RBDSQ の感度及び特異度と関連情報との関係性を調査いたします。

【利用又は提供する試料・情報等】

情報等：終夜睡眠ポリグラフ検査の結果、基本情報(年齢・性別・身長・体重・BMI)、診断名、併存疾患、質問紙(RBDSQ、WHO-DAS、PHQ-9、PHQ-15、GAD-7、ISI、SHAI、IRLS)

提供する試料・情報の取得の方法

情報：診療録から入手

【利用又は提供を開始する予定日】

研究開始日を予定しています。

【共同研究機関】

なし

【共同研究機関以外の試料・情報を取り扱う機関】

なし

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 臨床検査部 氏名 松井 健太郎

電話番号

e-mail: e-mail:matsui.kentaro※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)